※令和４年度以降入学生用

学校番号	324

令和５年度 芸術科(美術)

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の美術２」　美Ⅱ-304　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常の事象が芸術に繋がると気付き、身近に芸術を実感してもらいたい。柔軟な思考、多面的な視点を育むことは様々な分野、領域に活かされると考える。発想、思考を具現化するために試行錯誤を繰り返してもらいたい。

２　学習の到達目標

a:分野、領域を横断した知識の活用、習得。
b:課題の制作から創造性や論理性を養う。
c:模索を繰り返す意欲、姿勢

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	課題における趣旨の理解。 画材、道具の使用方法の理解、習得。 課題を表現するための技法の理解、習得。 課題における素材の特徴を理解する	参考資料からの発想の展開、深化。 発想の具現化。 表現の試行、模索。 構図などの検討。 素材の特徴を活かした創意工夫。 課題についての言語化。	課題に対して取り組む意欲。 様々な媒体からの資料収集。 模索を繰り返す姿勢。 課題完成までの計画性。 制作途中の課題への臨機応変な対応 課題についてのディスカッション。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	油彩１	油彩表現 ・宝箱をテーマに表現する 例・自身にとっての宝箱を表現する 箱の中には何が入っているのか どのような箱に入れられているのか 箱の外は何かのか 油彩によるキャンバスへの表現	a:課題趣旨の理解 a:描画材の活用、工夫 a:技法の試行、工夫 b:多様な表現の模索 b:参考資料からの発想、深化 b:構図の検討 c:課題の完成までの計画性 c:課題へのコメント c:課題へ取り組む姿勢	:描画材の習得、工夫 :技法の習得、工夫 :完成課題	:アイデアスケッチ :構図の検討 :制作途中の課題 :完成課題	:制作態度 :計画性 :完成課題 :課題へのコメント :準備や片付け、掃除
	油彩２	油彩表現 ・矛盾(二律背反）をテーマに表現する 例・嘘と本当、重いと軽い、速いと遅い、暗いと明るい、表と裏、など 教科書など各自の資料を参考にしながらアイデアスケッチを行なう 油彩によるキャンバスへの表現	a:課題趣旨の理解 a:描画材の活用、工夫 a:技法の試行、工夫 b:多様な表現の模索 b:参考資料からの発想、深化 b:構図の検討 c:課題の完成までの計画性 c:課題へのコメント c:課題へ取り組む姿勢	:描画材の習得、工夫 :技法の習得、工夫 :完成課題	:アイデアスケッチ :構図の検討 :制作途中の課題 :完成課題	:制作態度 :計画性 :完成課題 :課題へのコメント :準備や片付け、掃除
	油彩３	・油彩表現 -雰囲気を表現する- 例・静寂、喧噪、熱気、平穏など 油彩によるキャンバスへの表現	a:課題趣旨の理解 a:描画材の活用、工夫 a:技法の試行、工夫 b:参考資料からの発想、深化 b:構図の検討 b:多様な表現の模索 c:課題完成までの計画性 c:課題へのコメント c:課題へ取り組む姿勢	:描画材の習得、工夫 :技法の習得、工夫 :完成課題	:アイデアスケッチ :構図の検討 :制作途中の課題 :完成課題	:制作態度 :計画性 :完成課題 :課題へのコメント :準備や片付け、掃除

※令和４年度以降入学生用

後期	デザイン・工芸	・線描表現 光をテーマに表現する。 ニードルによる線描表現。 線描の表情の活用、工夫 明暗の表現の模索	a:課題趣旨の理解 a:スクラッチ板の特性を活かす a:描画材の活用、工夫 b:参考資料からの発想、深化 b:構図の検討 b:線描画による表現の模索 c:課題完成までの計画性 c:課題へのコメント c:課題へ取り組む姿勢	:スクラッチ板の特徴の把握 :線描技法の習得、活用 :完成課題	:アイデアスケッチ :構図の検討 :制作途中の課題 :完成課題	:制作態度 :計画性 :完成課題 :課題へのコメント :準備や片付け、掃除
	彫塑	-樹脂粘土- 粘土による模造 デッサンの精密描写と同様に、粘土素材を用いて、モチーフの精密模造を行なう。 モチーフの色合い、形体、素材感などを表現する。 細部への視線、観察。 粘土による具現化。	a:課題趣旨の理解 a:素材の特性を活かす a:粘土ベラなど道具の活用、工夫 b:参考資料からの発想、深化 b:量感の検討 b:モチーフとする素材感、色味、形体などの表現の模索、工夫 c:課題完成までの計画性 c:課題へのコメント c:課題へ取り組む姿勢	:素材の認識 :道具の活用、工夫 :完成課題	:アイデアスケッチ：三次元における量感の検討 :制作途中の課題 :完成課題	:制作態度 :計画性 :完成課題 :課題へのコメント :準備や片付け、掃除

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度